

2010年(平成22年)6月11日(金) 東京新聞

待ちモノ  
流行モノ

蒲田駅近くの飲食店激戦区で毎日行列ができるこの店。本来は居酒屋「叶え家」だが、昼時だけ「250にこまる食堂」と名を変え、250円(会員価格、非会員は300円)でランチを提供している。客側としては、お得なだけでなく、食べることで社会貢献もできるというから面白い。

もともとは、ニートや引きこもり、不登校などに悩む若者の自立をサポートする「K2インターナショナル」(横浜市)のプロジェクト。同社が若者たちの雇用の場としても運営する飲食店で、年会費1000円の会員カードか、10枚で3000円のチケットを購入すれば、250円のランチが食べられる。年会費の1000円や、チケット

の差額500円分が若者自立就労支援への寄付金となる。支援者から米や野菜の寄付もあり、成り立っているとか。

叶え家の代表、山本友大さん(32)はK2からの依頼で飲食業について講演した

## 250にこまる食堂

カツ丼だけなら250円(会員価格)。  
サラダとみそ汁付きは200円増し。



スマイル価格で「貢献」

のを機に、このプロジェクトを知り、初の外部協力店として今年2月から250にこまる食堂に参加した。叶え家ではK2からの食材支援は受けず、自助努力でやりくり。250円の縛りがあるからこそ、仕入れやメニューを工夫するため「社員教育に役立っている」そうだ。

定番メニューは「親子丼」「にこまるカレー」「釜玉うどん」「チキンカツライス」。日替わりで「カツ丼」なども登場。山本さん自ら腕を振るう料理の数々は素直に美味しいと言える質の高さ。当然、赤字になることも。「偽善ともいわれるけど、社会貢献はこれからの飲食業の在り方だと思うんです」。頼もしく未来を語る山本さんとスタッフの笑顔もまさに、にこまるだ。(文と写真 村手久枝)

★メモ 大田区西蒲田7の67の14。午前11時半～午後1時半(夜は居酒屋として営業)。土曜休。☎03・6424・9738